



ほしの市 議会だより



平成22年10月31日発行

No.21



平成22年9月定例会

- 平成22年第1回臨時会
- 平成22年第3回定例会 主な質疑／審議結果 … P2～3
- 平成21年度決算・主な質疑 …………… P4
- **ここが聞きたい!** 一般質問 …………… P5～10
- 委員会活動報告／請願／主な議会の動静………… P11
- **傍聴者の声** / **12月定例会の予定** …………… P12

「議場へようこそ!!」未来の議員さんたち!旭南小学校 市役所見学



平成22年第1回臨時会

8月5日

提出議案と審議結果

● 全員賛成
● 賛成多数
● 賛成少数

主な質疑

議案第3号

工事請負契約の締結について

農業集落排水処理施設土木工事（梶山地内）に係る工事請負契約
去る7月23日に一般競争入札により、大貫・田口特定建設工事共同企業体が落札しました。

問 工期はいつまでか、また、加入の戸数ほどの程度か？

答 工期は契約日の翌日から23年3月15日までです。

加入戸数は当初計画の予定で処理人口960人、処理戸数230戸です。

平成22年第1回鉾田市議会臨時会

- 工事請負契約の締結について
- 工事請負契約の締結について
- 工事請負契約の締結について

平成22年第3回鉾田市議会定例会

平成21年度決算認定

- 鉾田市一般会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市老人保健特別会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 鉾田市旭区域水道事業会計収入支出決算認定
- 鉾田市鉾田区域水道事業会計収入支出決算認定
- 鉾田市大洋区域水道事業会計収入支出決算認定

平成22年度補正予算

- 専決処分の承認について
- 鉾田市一般会計補正予算 (第4号)
- 鉾田市一般会計補正予算 (第5号)
- 鉾田市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)
- 鉾田市老人保健特別会計補正予算 (第1号)
- 鉾田市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)
- 鉾田市介護保険特別会計補正予算 (第2号)
- 鉾田市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第2号)



平成22年第3回定例会

9月10日
～9月24日

主な質疑

議案第12号

平成22年度銚田市 一般会計補正予算(第5号)について

既定の歳入歳出予算の総額に8億9792万1千円を追加します。

問 今後の学習等供用施設の改修計画は？

答 銚田市管内には学習等供用施設が10施設ありますが、今後の予定としては、平成23年に舟木地区、平成24年に青柳地区の施設について改修を行う予定です。



旭幼稚園運動会



議案第22号

工事請負契約の締結について

銚田水処理センター電気設備工事(安塚地内)に係る工事請負契約

去る8月25日に一般競争入札により、(株)東芝東関東支店が落札しました。

問 落札率が58・24%と低い数字になっているが、事業の遂行にあたり問題は無いのか？

答 今回の入札では低入札価格調査要領に抵触しているため、業者を呼び調査を行いました。その結果、この金額で間違いなくできるとの回答を得ております。

◎銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
◎銚田市旭区水道事業会計補正予算(第2号)

その他

- ◎物品購入契約の締結について
- ◎工事請負契約の締結について
- ◎工事請負契約の締結について
- ◎訴えの提起について
- ◎訴えの提起について
- ◎訴えの提起について

人事

- ◎人権擁護委員の推薦について(汲上 立木 治)
- ◎人権擁護委員の推薦について(湯坪 酒井文夫)

報告

- 平成21年度 健全化判断比率について
- 平成21年度 資金不足比率について

請願

- ◎土地改良事業関連予算の確保を求める請願書について

意見書

- ◎土地改良事業予算確保等に関する意見書の提出について
- ◎子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書の提出について

討論(反対討論や賛成討論があった議案)

- 銚田市一般会計歳入歳出決算認定
- 銚田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 銚田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 銚田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定

平成21年度決算

主な質疑

国庫補助金について

問 地域活性化各種臨時交付金の成果は？

答 地域活性化臨時交付金は20年度から21年度にかけて国の経済対策の一環として創設されました。

答

助成金交付人数は、J A旭で107名、J Aかしまなどで20名、一般で40名、総数167名でした。実施面積は、J A旭で46・9ha、J Aかしまなどで11・8ha、一般で23・2ha、合計で81・9haでした。また一件当たりの実施面積は9aでした。糠などを入れて太陽熱を使つての自然発散消毒を行っているので非常に高評価を受けています。

工事請負費について

問 21年度の一般競争・指名競争・随意契約の状況と落札率について

答

一般競争入札は71件、平均落札率は94・57%です。指名競争入札は83件、平均落札率は91・39%です。随意契約入札は141件、平均落札率は95・32%です。入札総件数は295件、平均落札率は94・0%でした。

国民健康保険について

問 保険税収入未済額8億9489万4千円の増加の理由は。滞納理由、短期保険証・資格証明書の発行状況について

答

収入未済額の増加理由は、経済不況が影響を及ぼしていますが、若い方では、医者にからないから保険証は必要ないのて払わないという方が増えています。短期保険証・資格証明書の発行状況については、短期保険証が1795世帯、資格証明書が162世帯となっています。

衛生費について

問 ほっとパーク銚田・とつぷさんて大洋の今後の存続については？

答

ほっとパーク銚田ととつぷさんて大洋の利用者は合計で年間30数万人にのぼり、市民の健康増進と高齢者の福祉に大きく貢献しているところです。このような中、施設を良好

に保つとともに、一層の利用を図るために施設の修繕を図っています。両施設ともに現在の利用状況からみて廃止は考えていません。



銚田市敬老を祝う会

農業振興費・補助金・土壌消毒助成金について

問

助成金交付人数・実施面積・土壌消毒の効果は？

答

助成金交付人数・実施面積・土壌消毒の効果は？



ここが聞きたい!!一般質問

11人の議員が一般質問

議員名	質問事項
倉川陽好	(1) 子供達が市に誇りを持ち住みたいと思う街づくりの施策について (2) 生活扶助の取り組みについて (3) 不妊治療の助成について (4) 古民具の活用について
菅谷幸雄	(1) 文化複合施設について (2) 税収対策について (1) 茨城租税債権管理機構について
飯塚幸右衛門	(1) 高齢者に優しい街づくりについて (2) 我がまちのこどもたちを育てる取り組みについて (3) 予防ワクチン接種率向上について
水上美智子	(1) 文化複合施設について (2) 銚田産品の地産地消の取り組みについて
畠長弘	(1) 介護サービスや介護施設の現状と市の対策について (2) 教育について (2) 生活基盤について
井川茂樹	(1) 公民館(ホール)使用禁止について (2) 市長の兼職について (3) 子宮頸がんワクチン接種について
小沼洋一	(1) 医療福祉制度(マル福)について (2) 農産物加工場について (1) 高齢者福祉について
方波見和彦	(2) 遊休農地の対策と野焼きの問題について (3) 公共交通ネットワークの整備について
入江晃	(4) 学校給食に地元食材利用推進について (5) 小中学校へのエアコン設置について (6) 道路の問題について (7) 百里基地の騒音対策について (8) 自然エネルギーの活用と地球温暖化防止対策について
高野衛	
菅谷達男	(1) 市民の歌・踊りについて

ホームページで一般質問の会議録が見られます。

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

- ① 銚田市のホームページへアクセスする。(アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>)
- ② 市ガイド内の「銚田市議会」をクリックする。
- ③ 会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、12月頃の予定です。本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。

問

地方では子供達の少子化に伴い過疎化現象がおきています。また学校卒業後に首都圏で生活する子供達が増えています。夢を持って銚田市に住みたいと思われる施策について伺います。

答

【総務部長】銚田市に住みたいと思うような施策としまして、

①住みたいと思う魅力づくりとして、都市基盤の整備・地域医療体制の強化・地域福祉の充実・教育環境の向上・市民活動の活性化など。

②銚田市PRとして、農産物のブランドアップ・観光資源の活用・銚田市にかかわる有名な人が育つてもらうことなど。

③子供達が大人になって働く場所として、銚田市の環境と経

営が調和した農業の確立・茨城空港の活用や新たな基幹産業としての商工業の振興・工業団地への企業誘致など。

以上の3点を実施することによって、人口の流出にも歯止めがかかり、まちも賑わい、誇りと夢の持てる魅力あるまちの実現と銚田市に住みたいとなる魅力づくりができるものと考えています。これは市政運営においてすべての分野で考えなければならぬことなので、今後も施策展開の実現を図っていききたいと思えます。

子供達が市に誇りを持ち住みたいと思う街づくり

倉川陽好 議員



文化複合施設

菅谷 幸雄 議員

問

文化複合施設予定地が、地質調査の結果、軟弱地盤で改良には長い年月と多額の費用を要し、合併特例債の期限までに工期完了が見込めない為、新たに用地選定することですが、選定委員はどのように選出するのか。また今後事業を推進するにあたって先頭に立っていたのは副市長が最適任だと思えますが、市長の考えを伺います。

答

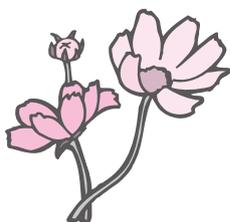
【総務部長】建設予定地の地質調査を行った結果、軟弱地盤のため、(仮称)銚田市文化複合施設用地選定委員会を設置し、候補地選定を行う予定です。委員会構成については、市民代表、学識経験者、市議会議員の13名以内を予定し

ています。今後

の予定として平成22、23年度に基本計画を策定し、市民に対しての説明、パブリックコメント等を実施した後、市民コンセンサスが得られれば建設計画を進めていきたいと思っています。

答

【市長】選定委員会の件については、私を含めて特別職が委員に入る想定はしていません。今後、検討させていただきますかと思えます。



茨城租税債権管理機構

飯塚 幸右衛門 議員

問

茨城租税債権管理機構は、県内すべての44市町村で構成する一部事務組合ですが、銚田市職員の派遣人数と派遣期間は。また2年間で依頼した件数と金額について伺います。

答

【市民部長】茨城租税債権管理機構へ派遣している県内市町村の職員体制は21名で、本市は平成19年度から20年度にかけて1名、21年度から22年度にかけて1名を派遣しています。派遣期間は2年間です。過去2年間で依頼した件数と金額については、平成19年度の移管件数は30件、移管金額は2171万1千円、平成20年度の移管件数は28件、移管金額は23万8千円です。なお、これ

らに対する徴収額は、合わせて2808万3千円で、徴収率は約62%となっています。

問

徴収金には時効がありますが、時効になる前の対策を伺います。

答

【市民部長】地方税法では徴収権5年間を行使しないと時効消滅となり、それらを防ぐために差押えを行ったりして、時効を延ばすよう努めています。



高齢者に優しい街づくり

水上 美智子 議員



文化複合施設

畠 長弘 議員

問

ひとり暮らしの高齢者の方で今までは、ごみ集積所までごみ置きに行けた方が、体の不調でだんだん難しくなってきたとの声を伺いました。市にもそういう声が上がっているのではないかと思っています。対策を伺います。

答

【市民部長】ひとり暮らしの高齢者は近隣の集積所への家庭ごみ搬出が難しくなってくる場合があるかと思えます。その場合には、とりえず血縁関係の方や集積所の共同利用者に相談や協力をお願いします



る方法しかないのかなと考えています。市としても、高齢化社会に対しての新たな課題と受けとめたいと思っています。

問

全国では高齢者宅にごみ収集を行うサービスや、シルバー人材センターに市が9割負担して委託している自治体があります。弱者である高齢者のために、もっと取組みが必要だと思いが、考えを伺います。

答

【市民部長】ひとり暮らしの高齢者については、ごみ問題ばかりではなく、生活全般をみて総合的に判断し検討していかねければならないと思っています。

問

今回見直しとなった選定地を当初から軟弱地盤ではという疑問があったにもかかわらず選定した理由は。また選定し直して期間内に間に合うのか伺います。

答

【総務部長】当時は5つの候補地の中から、低湿地との意見もありましたが、駅から近く道路際であり、排水の利便もあるといった立地条件の優位性から選定され、鉾田工事事務所が道路工事をした際に特殊な工法を用いなくても出来たということでの選定はしました。今後は12月末までに用地選定をし、早急に整備計画策定を進めなければならないと考えています。

問

地区説明会を中学校単位で4カ所予定しているとのことですが、いづろ行うのか。またアンケート調査などは行わないのか伺います。

答

【総務部長】地区説明会やパブリックコメントは平成24年1月～3月に行っていく予定です。アンケート調査は予定していません。

答

【市長】本庁舎は補修等していけばまだまだ使えると考えていますので、新庁舎建設は考えていません。

介護サービスや

介護施設の現状と対策

井川 茂樹 議員

問

特別養護老人ホームなどへ入所する場合に順番待ちや待機者がいると聞きました。そのような状況を市は把握しているのか。また短期的サービス事業の利用状況について伺います。

答

【健康福祉部長】待機者については、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）は年1回県の調査で、その他介護老人保健施設・認知症高齢者グループホームは随時施設に問合せをして把握しています。順番待ちについては、施設側のみならず、短期のサービス事業についても、データーサービスの昨年1年間の利用状況は、介護予防分も含めて通所介護5027件、通所

リハビリテーション
3676件でした。

ショートステイの昨年1年間の利用状況は、介護予防分も含めて短期入所生活介護1378件、短期入所療養介護200件でした。

問

今後の更なる高齢化を考えると新たな施設整備も必要になります。財政負担も多くなることが予想されます。市長の考えを伺います。

答

【市長】施設関係の経費が増えてくるのは当然想定されます。今後整備していった場合に増える保険料をどこまで住民の皆さんが負担してくれるのか、その辺の議論をしながら進めていくべきだと思っています。



児童・生徒の育成

方波見 和彦 議員

問

教育は、国家百年の大計と言われています。世の中の経済が厳しいときにも、おろそかにはできません。勉強、スポーツ、実業において、それぞれ全国に比肩する児童・生徒の育成を考えているのか伺います。

答

【教育部長】学習面では、特に国語、算数、数学について重点的に、年2回の県プロジェクト訪問を通して、授業の工夫、改善を図り、学力の向上に努めているところです。また、市内で学力向上研修会を開催し、授業研究等を通して、各校の課題を明確にしながら進めています。

教育は、国家百年の大計と言われています。世の中の経済が厳しいときにも、おろそかにはできません。勉強、スポーツ、実業において、それぞれ全国に比肩する児童・生徒の育成を考えているのか伺います。

告書を見ても、本県の体力テストは全国でもトップレベルです。銚田市の児童は、県内でもよい値が示されており、体力、運動能力的には、全国と比べても、トップレベルとして引けをとらない状況にあると言えます。

実業については、平成15年度からキャリア教育が導入され、本市でも各校で職場体験を踏まえた取り組みがなされています。現在では受け入れの事業団体等も増え、子供たちは生き生きと取り組んでいます。

今後とも、市の教育目標を踏まえ、事業をさらに充実させながら、知、徳、体のバランスのとれた人間形成づくりに努めていきたいと考えています。



市長の兼職

小沼洋一 議員



子宮頸がんワクチン接種

入江 晃 議員

問 鉾田市健康づくり財団等で補助金を支出する市長と市の補助金を受ける団体の長を市長が兼職しているのは、違法性はなくても、好ましくない状況ではないかと思えます。今後の対応について伺います。

答 【総務部長】 地方自治法の規定により、出資比率が2分の1以上の団体については、市長とその団体の理事の兼業が認められています。また、団体と市との具体的な契約については、各団体で双方代理とならないよう、職務代理者を置く規定を設けていますので、補助金交付団体の代表が市長であっても、法律上問題はないと思えます。

ことで双方の事業の連携が図れること、市民や各種団体の協調が図れること、団体の事業の啓発に効果的なことなどから、これまで市長が代表者に選任されてきたのではないかと思われる。

要望 違法性はないが好ましくないというのが一つの結論であると思えます。補助金を支出する際には内容を精査しなければならぬ状況の中、市長が兼職をしていると誤解を招く場合もあるかと思えます。

市長は市のシンボルとして、先頭に立つてやらなくてはならないものも数多くあると思えます。できればそういったこと（市長の兼職）は分別していただけるようお願いしたいと思います。

問 子宮頸がんは、国が今概要要求を出しているということ、当然まだ見えない部分が大いいかとは思いますが、鉾田市としても、できれば「中学校1年生だけでも実施します」というような答えが欲しいのですが、市の考えを伺います。

答 【市長】 この件については、本来であれば国が全面的に実施するものであり、市町村の財政的な余裕のあるところと余裕のないところによって差が出るということは、本来おかしなことではないかと思えます。

しかしながら、国の子宮頸がんワクチン接種の概要要求がされたことによって、我々も、国と一



緒になってやるのは、やぶさかではないと思えます。ただ、詳細についてはまだはつきりしていませんので、年齢をどのように設定して実施するのか、市の負担する費用がどのくらいになるのか等、今後詳しく精査をしていきたいと思えます。

要望 市町村によって違いが生ずるのは、よいなことですので、当然国も実施していただけたらと思えます。本市においても来年の実施に向けてお願いしたいと思います。

学校給食における 地元食材の利用推進

高野 衛 議員

問

地元食材の利用推進を図るため、今、学校給食における地産地消の拡充が求められています。

特別栽培米、減農薬減化学肥料により栽培された地元コシヒカリの使用については、近隣市町村の多くが学校給食に使い始めています。

本市においても銚田産特別栽培米コシヒカリを学校給食に使うことについて、どのように考えているか伺います。

答

【教育部長】現在の学校給食用の米については、すべて銚田産のゆめひたちを使用しています。

特別栽培米コシヒカリの使用については、納入価格、給食費の問題、納入の方法、保管方法等について、生産者団体、関係

機関と協議、検討を現在重ねているところです。

要望

特別栽培米コシヒカリの提供により、学校給食費の値上げが心配されるということですが、例えば大洗町などでは、ゆめひたちからコシヒカリにかわる上で、やはり価格差が生じ、その価格差部分を、町が全額補助して学校給食に提供をする努力がされています。

本市においても、前向きに検討して頂きたいと思えます。



市民の歌・踊りの創作

菅谷達男 議員

問

市民の融和と親睦、

一体感の醸成、そして郷土を思う意識の高揚を図るため、市民が共有する共通のシンボルをふやす努力をしてみたらどうかと考えています。

市民のだけれどもが気軽に口ずさみ、楽しく踊れる歌と踊りをつくってみたらどうかと考えていますが、市にそのような考えはあるか伺います。

答

【総務部長】銚田市には、合併前より「ほこた音頭」、「たっしゅか踊り」、「旭サンサン音頭」など、地域の人々に親しまれている歌や踊りがあります。

銚田市が誕生し、旧町村間の

住民の融和が年々図られていると感じています。完全な融和を求めるため、統一した新しいものをつくることも必要かと思いますが、旧来から地域の人々の記憶にある文化的価値のあるものを親しみ、楽しむことも重要ではないかと考えています。

銚田市の多くの市民がこれらの歌や踊りを楽しみ、盛り上がりを見せた段階で、統一した歌や踊りの制作を検討していきたいと思いますが、現在のところは時期尚早ではないかと感じています。



委員会活動報告



【原子力施設の安全に関する調査特別委員会】

8月3日(火)から4日(水)にかけて、福井県敦賀市にある原子力機構高速増殖炉研究開発センター『もんじゅ』を訪問し、施設の視察及び原子力機構の職員との意見交換会を行いました。

請願

9月定例会に提出された

請願書1件

◆「請願第22-4号

土地改良事業関連予算の
確保を求める請願書」

提出者 大洋土地改良区

理事長 人見 敬他5名

本件について、審査の経過で、土地改良事業関連予算の大幅な削減により、農家の負担が増大すれば、営農意欲の減退が加速され、その結果、耕作放棄地の増大や農業用施設の荒廃が危惧されます。本市の基幹産業である農業が将来に渡り継続、発展するためにも土地改良事業関連予算の確保は必要であり、本件の土地改良事業関連予算の確保を求める請願書については願意妥当として採択されました。

※市政に対する意見や要望を、請願・陳情の方法で市議会に提出できます。請願書には議員1名以上の紹介議員により、議会(定例会)開催日の10日くらい前までに議長に提出してください。陳情書には、紹介議員は必要ありません。
詳しくは、市のホームページから市議会のページを参照ください。

主な議会の動静

8月

3～4日 原子力施設の安全に関する調査特別委員会

視察研修(福井県敦賀市)

5日 平成22年第1回臨時会

全員協議会

25日 総務企画常任委員会

9月

3日 議会運営委員会

10～24日 平成22年第3回定例会

10日 全員協議会

13日 議会運営委員会

14日 議会広報編集委員会

15日 厚生文教常任委員会

16日 経済建設常任委員会

17日 総務企画常任委員会

21日 議員定数及び議員活動に関する

調査特別委員会

24日 議会運営委員会

百里基地騒音対策特別委員会

10月

5日 愛媛県伊予市議会来庁

7日 茨城県市議会議長会監事会(水戸市)

12日 厚生文教常任委員会所管事務調査(大子町)

19日 県東市議会議長会定例会(潮来市)

21日 議会広報編集委員会

22日 栃木県壬生町議会来庁

25日 茨城県市議会議長会臨時会

25～26日 茨城県市議会議長会第1回議員研修会

(つくば市)

27～28日 議会運営委員会視察研修

(福島県会津若松市・栃木県那須塩原市)

傍聴者の声



飯島 武夫
 鉾市上宿区長

議会の傍聴は、固苦しく縁遠いものと思いがちですが、以外と身近なことが取り上げられています。

昨年から区長になり、議会の度に傍聴してきました。それぞれの議員さんの思いや市民の意向を踏まえての質疑など多様でありました。

今回も11人の議員さんが、生活・医療・公共施設・農業振興・教育など幅広い分野から質疑をされていました。歯切れの良い簡単明瞭な質疑には、傍聴者も真剣に耳を傾けていました。

本市のスローガンは「いのちとくらしの先進都市」ということなので、今後とも他の市町村に先駆けた「先進都市づくり」の議会であつて欲しいと願っています。

最後になりましたが、市民の皆さん、議会を是非傍聴して「先進都市づくり」に対する関心をより高めようではありませんか。

12月定例会日程(予定)のお知らせ

月 日	会議内容
11月 30日(火)	本会議閉会
12月 1日(水)	委員会
12月 2日(木)	委員会
12月 3日(金)	委員会
12月 7日(火)	本会議(一般質問)
12月 8日(水)	本会議(一般質問)
12月 10日(金)	本会議閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成22年第3回(9月)定例会の延傍聴員数 75人

編集後記

連日連夜、猛暑・酷暑といわれ続け、エアコンが売れに売れたこの夏もようやく終わりを告げた。同じころ、NHK朝のドラマ「ゲゲゲの女房」も終了した。そのドラマの中で、「妖怪は目に見えない。だからといって嘘だとはいえない。見えないがその存在を感じることができる。」という言葉があつた。

確かに、昔は見えない妖怪や幽霊の話に肝を冷やし、また、見えない風を風鈴の音により感じて、しばしの清涼感を味わったものだ。しかし、今はエアコンの設定温度について目をやってしまう。

もう一度、心を澄まして、見えないものを感じとつてみたい。そこに大切なものもあるだろう。虫の音に耳を傾けながらそう思う秋が来た。

(栗田 洋記)

委員長 水上美智子
 副委員長 方波見和彦
 委員 小沼 幸義 菅谷 達男
 山口 徳 栗田 洋